

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

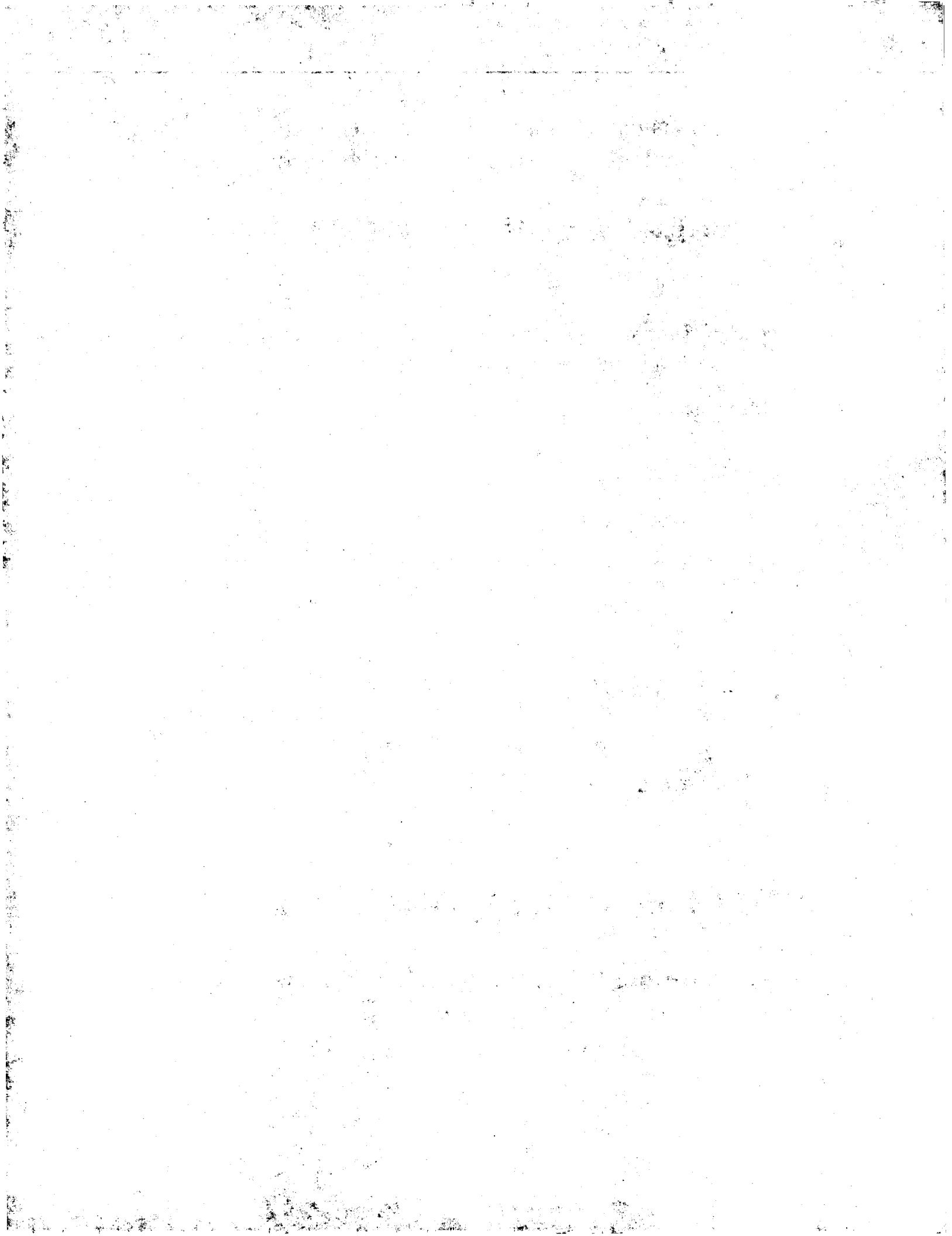
Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**



ABSTRACT ATTACHED

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-253124

(43) 公開日 平成9年(1997)9月30日

(51) Int.Cl. ⁸	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 6 1 F 13/15			A 4 1 B 13/02	M
A 4 1 B 13/04			13/04	
A 6 1 F 5/44			A 6 1 F 5/44	H

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平8-65802

(22) 出願日 平成8年(1996)3月22日

(71) 出願人 000115108

ユニ・チャーム株式会社

愛媛県川之江市金生町下分182番地

(72) 発明者 佐々木 徹

愛媛県川之江市金生町山田井1203

(72) 発明者 曾我 洋行

香川県三豊郡豊浜町大字和田甲434-28

(72) 発明者 久田 健一

愛媛県川之江市川之江町2529-229

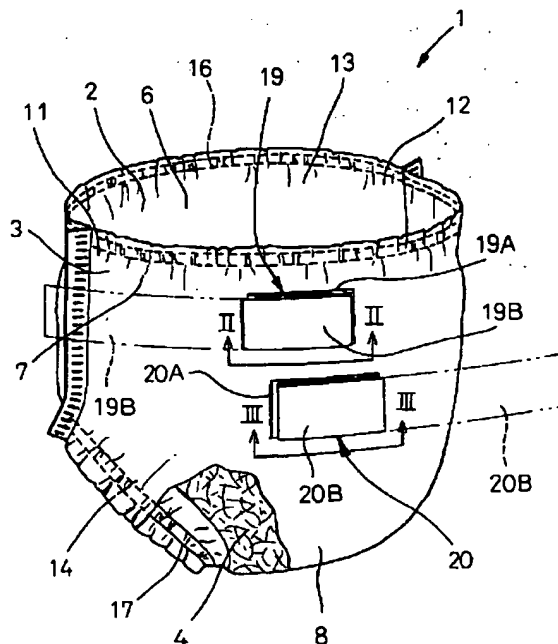
(74) 代理人 弁理士 白浜 吉治

(54) 【発明の名称】 使い捨ておむつ

(57) 【要約】

【課題】 汚れた使い捨ておむつを粘着テープで丸めておくときに、広い範囲でそのおむつを閉じておくことができるようにする。

【解決手段】 使い捨ておむつ1の前後胴周り域6、7いずれかの幅方向中央部外面に互いに上下方向に離間し、胴周り方向に平行に延びる二条の粘着テープ19、20が設けられる。テープ19、20は、その一端部19A、20Aが前記外面に固着し、残余の自由変形可能な部分19B、20Bが胴周り方向へ伸展可能に折り重ねられている。部分19B、20Bには、折り重ねた状態を保持するためと、おむつ1を丸めておくためとに使用する粘着域が形成される。



【特許請求の範囲】

【請求項1】透液性表面シートと不透液性裏面シートとの間に吸液性コアが介在し、前胴周り域と、後胴周り域と、これら両域間に位置する股下域とを有する使い捨ておむつの前記前後胴周り域いずれかの裏面シート外面に前記おむつを丸めておくために使用可能な粘着テープを有する使い捨ておむつであって、

前記粘着テープが、前記おむつの胴周り方向に互いに平行に延び、上下方向に離間する少なくとも二条の粘着テープによって構成されていることを特徴とする前記おむつ。

【請求項2】前記二条の粘着テープのそれぞれは、一端部が前記前後胴周り域いずれかの幅方向中央部において前記裏面シート外面に固着され、前記一端部を除く残余の部分が自由変形可能な部分に形成されて、一方の粘着テープはその自由変形可能な部分が前記胴周りを左周方向に延び、もう一方の粘着テープはその自由変形可能な部分が前記胴周りを右周方向に延びている請求項1記載の使い捨ておむつ。

【請求項3】前記二条の粘着テープは、共に一端部が前記前後胴周り域いずれかの幅方向中央部において前記裏面シート外面に固着され、前記一端部を除く残余の部分が前記胴周りを同一方向に延びている請求項1記載の使い捨ておむつ。

【請求項4】前記粘着テープのそれぞれは、前記自由変形可能な部分の両面の所要部位に粘着域が形成されて該テープ長手方向に幾重かに折り重ねられ、その重ねられた状態が前記粘着域によって伸展可能に保持されている請求項1～3いずれかに記載の使い捨ておむつ。

【請求項5】前記粘着テープは、前記自由変形可能な部分の幅方向中央部に前記胴周り方向に延びるミシン目が施されている請求項1～4いずれかに記載の使い捨ておむつ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明が属する技術分野】この発明は、使用後に丸めて廃棄するための粘着テープを備えた使い捨ておむつに関する。

【0002】

【従来の技術】実開平5-39531号公報に開示されたパンツ型使い捨ておむつでは、左右各側部に胴周り方向に延びる一条の粘着テープが設けられており、汚れたおむつは、合計二条のテープを使用して丸めておくことができる。このようにすれば、おむつに汚物が付着していても衛生上好ましい状態で廃棄することができる。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】前記実開平5-39531号公報のおむつでは、左右各側部が内側となるように丸めると、粘着テープが隠れてしまい、それを利用できない場合がある。パンツ型のおむつを着用していると

きに便が排泄されると、おむつの左右各側部を切り開いてそのおむつを脱がせることがある。切り開いたおむつは、便で汚れた部位が外にのぞくことがないように、各側部が内側となるように丸めることが好ましく、そのときに粘着テープを利用できないという事態は避けなければならない。

【0004】また、このおむつには、幅方向に丸めたおむつを上下方向で幅広く閉じておく手段がないから、サイズの大きい大人用のおむつ等では、汚れた部位が外にのぞきがちになる。

【0005】そこで、この発明は、使い捨ておむつを幅方向に丸めたときに、それを幅広く閉じることができるようにすること等を課題にしている。

【0006】

【課題を解決するための手段】前記課題を解決するために、この発明においては、透液性表面シートと不透液性裏面シートとの間に吸液性コアが介在し、前胴周り域と、後胴周り域と、これら両域間に位置する股下域とを有する使い捨ておむつの前記前後胴周り域いずれかの裏面シート外面に前記おむつを丸めておくために使用可能な粘着テープを有する使い捨ておむつを前提にしている。

【0007】かかる前提において、この発明が特徴とするところは、前記粘着テープが、前記おむつの胴周り方向に互いに平行に延び、上下方向に離間する少なくとも二条の粘着テープによって構成されていることにある。

【0008】この発明の好ましい実施態様において、前記二条の粘着テープは、それぞれの一端部が前後胴周り域いずれかの幅方向中央部において裏面シート外面に固着され、これらテープの残余の部分が、おむつの胴周りを同一方向に、または互いに逆の方向に延びる。

【0009】

【実施例】添付の図面を参照して、この発明にかかる使い捨ておむつの詳細を説明すると、以下のとおりである。

【0010】図1に部分破断斜視図で示されたパンツ型の使い捨ておむつ1は、うしろ側から見たものであって、透液性表面シート2と、不透液性裏面シート3と、これら両シート2、3間に介在する吸液性コア4とによって構成され、前胴周り域6と、後胴周り域7と、これら両域6、7間に位置する股下域8とを有する。前後胴周り域6、7は、互いに左右両側縁部で重なり合って接合し、左右の胴周り側部11、12を形成するとともに、胴周り開口部13と、左右一対の脚周り開口部14とを画成している。胴周り開口部13の周縁部と脚周り開口部14の周縁部とは、それぞれ複数条の弾性部材16、17が伸長状態で表裏面シート2、3いずれかの内面に接合している。後胴周り域7の幅方向中央部の裏面シート3外面には、汚れたおむつ1を丸めておくときに使用するための二条の粘着テープ19、20がある。

テープ19、20は、一端部19A、20Aが裏面シート外面に固着し、残余の部分19B、20Bが、仮想線のように、それぞれ図の左右方向に伸展可能に折り重ねられている。

【0011】図2、3は、図1における粘着テープ19、20のII-II線、III-III線矢視図である。テープ19、20は、一端部19A、20Aがホットメルト接着剤24によって固着され、残余の自由変形可能な部分19B、20Bが両面の所要部位に粘着材26を塗布することにより形成された粘着域27を有し、その粘着剤26の作用によって折り重ねられた状態が保たれている。テープ19、20は、折り重ねられたときに粘着剤26と対向する面が剥離容易なように表面処理されており、それぞれの端部19C、20Cを摘持して引っ張ると伸展する。

【0012】図4は、廃棄するために丸められたおむつ1の斜視図であって、(A)は後胴周り域7の状態であり、(B)は前胴周り域6の状態である。おむつ1は、股下域8が前胴周り域6に折り重ねられた後に、左右各胴周り側部11、12が前胴周り域6を内側にして丸められている。図の(B)で明らかなように、各粘着テープ19、20が、胴周り方向に掛け回され、テープ19の粘着域27が丸められた右胴周り側部12の外面に止着し、テープ20の粘着域27が丸められた左胴周り側部11の外面に止着している。これらのテープ19、20が、止着するときに図のように互いに上下に離間していると、丸められたおむつ1は上下方向で幅広く閉じられた状態となり、それだけおむつの汚れた部位が露出しにくくなる。因みに、おむつ1をこのように幅広く閉じようとするときに、粘着テープが一条のものであると、そのテープは図示例のものよりもはるかに長いものになり、その取り扱いが煩雑になる。

【0013】汚れたおむつ1を図4のように丸めることの必要性は、次のとおりである。乳幼児がパンツ型のおむつ1を着用しているときに便が排泄され、そのおむつ1を引き下げるようにして脱がせると、便が身体のあちこちにくっついてしまうことがある。それを避けるために、着用したおむつ1を左右の胴周り側部11、12で切り開き、前後胴周り域6、7を分離し、おむつ1を身体から剥すようにして脱がせることができる。こうすると、汚れたおむつで身体をこすことが少なくなる。しかしながら、このように切り開かれたおむつ1では、その切り開かれた側部から汚れた部位がのぞいたり、汚物が漏れ出たりすることがあるから、図示のように開いた側部11、12それぞれが内側となるように、おむつ1を丸めて廃棄することが好ましい。これがその必要性である。

【0014】また、おむつ1がパンツ型ではなくて、開放型のものであときにも、図4のように丸めることができる。そして、そのおむつの左右両側縁部に粘着性のテ

ープファスナがあれば、それでおむつを丸めておくことも可能ではある。しかしながら、そのようなファスナは、前記実開平5-39531号公報のおむつ同様に、おむつを丸めたときに隠れてしまう可能性がある他に、その長さが必ずしも十分であるとはいえないことがあるから、開放型のおむつであっても図示の粘着テープ19、20を備えていることが好ましい。

【0015】図5は、おむつ1の実施態様の一例を示す図2と同様の図面である。このおむつ1では、二条の粘着テープ19、20が胴周りを同じ方向に延びるように取り付けられている。

【0016】図6は、実施態様の他の一例を示す図2と同様の図面である。このおむつ1の粘着テープ19、20は、それぞれの自由変形可能な部分19B、20Bの幅方向中央に長手方向へ延びるミシン目30が施されている。かかる部分19B、20Bは、それを止着するときにミシン目30で切り裂いて使用すると、図4のように止着するときのおむつ上下方向の止着域をさらに広範囲にすることが容易になる。この態様は、大人用おむつのようなサイズの大きいものに適用するとよい。

【0017】この発明において、粘着テープ19、20のテープ基材には、プラスチックフィルムや不織布を使用することができる。テープ19、20は、その両面の所要部位に粘着域27を形成し、テープ19、20を折り重ねておくためと、おむつ1を丸めておくためとに使用する。ただし、摘持用の自由端部19C、20Cは、両面とも非粘着性であることが好ましい。テープ19、20は、前後胴周り域6、7のいずれにあってもよい。図2、4のおむつ1では、図示例のように左右両方から丸める他に、一方から丸めて二条の粘着テープ19、20の一方だけを利用することもできる。

【0018】

【発明の効果】この発明にかかる使い捨ておむつでは、一端部が幅方向中央部に固着した胴周り方向に延びる二条の粘着テープが、おむつの上下方向において互いに離間しているから、おむつを幅方向に丸めたときに隠れることがなく、また、丸めたおむつの上下方向の止着域を広くして、サイズの大きなおむつでも汚れた部位が外にのぞかないようにすることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】おむつの部分破断斜視図。

【図2】止着用テープの側面を示す図1のII-II線矢視図。

【図3】図1のIII-III線矢視図。

【図4】(A)は丸めたおむつの後胴周り域を見たときの斜視図、(B)は丸めたおむつの前胴周り域を見たときの斜視図。

【図5】おむつの一実施態様を示す図2と同様の図面。

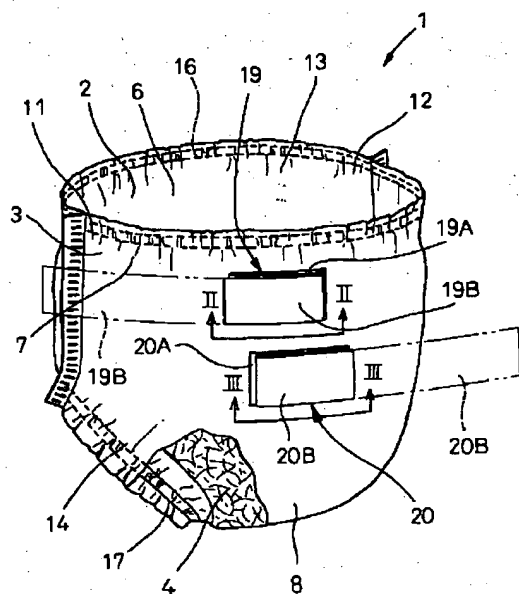
【図6】おむつの他の実施態様を示す図2と同様の図面。

【符号の説明】

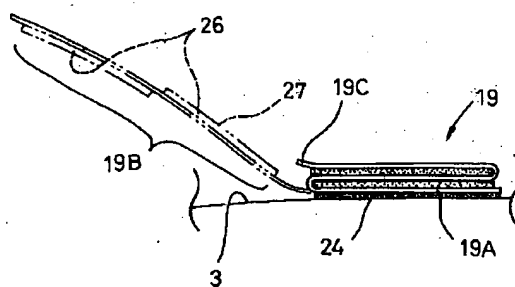
- 1 おむつ
2 表面シート
3 裏面シート
4 コア
6 前胴周り域
7 後胴周り域

- 8 股下域
19, 20 粘着テープ
19A, 20A 端部
19B, 20B 自由変形可能な部分
23 中央部
27 粘着域
30 ミシン目

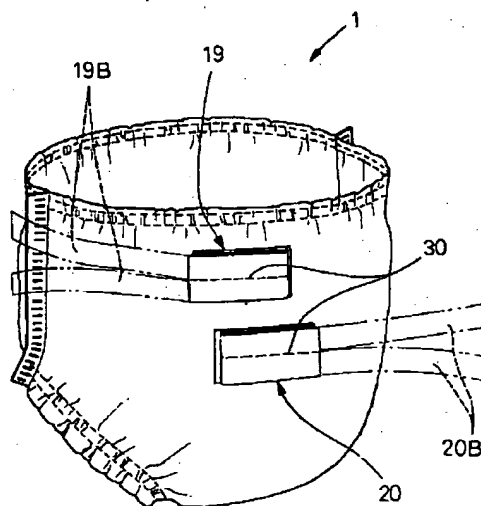
【図1】



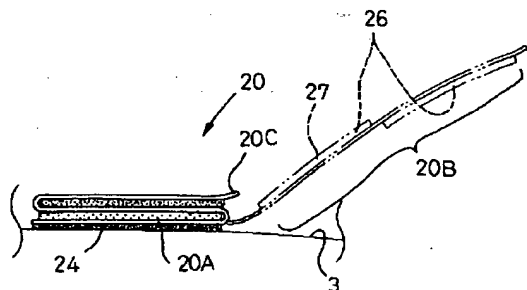
【図2】



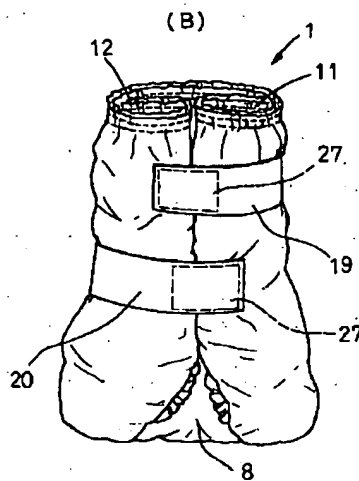
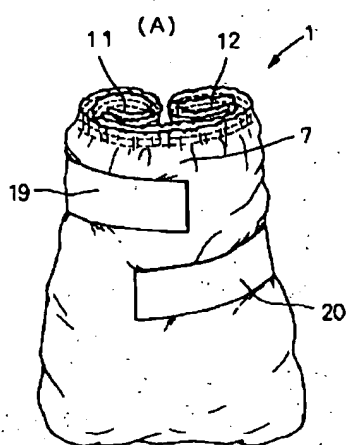
【図5】



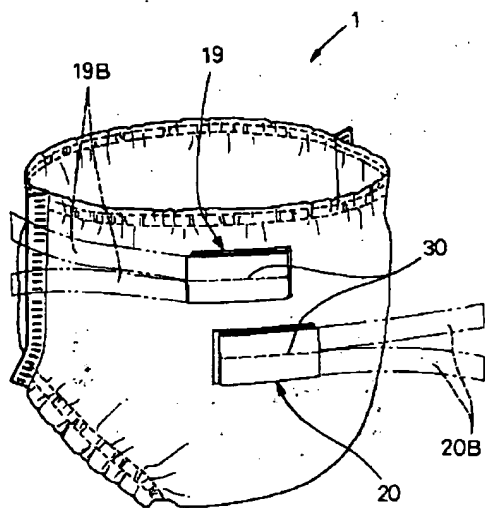
【図3】



【図4】



【図6】



(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **09253124 A**

(43) Date of publication of application: **30.09.97**

(51) Int. Cl. **A61F 13/15**
A41B 13/04
A61F 5/44

(21) Application number: **08065802**

(22) Date of filing: **22.03.96**

(71) Applicant: **UNI CHARM CORP**

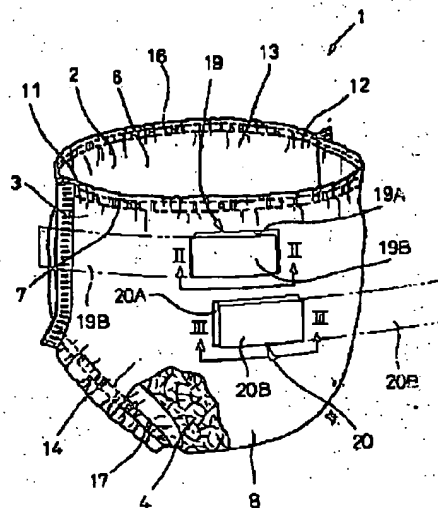
(72) Inventor: **SASAKI TORU**
SOGA HIROYUKI
HISADA KENICHI

(54) **DISPOSABLE DIAPER**

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To keep a contaminated disposable diaper in a close state over a wide area at the time of crumpling the diaper by use of an adhesive tape.

SOLUTION: Two strips of an adhesive tape 19 and 20 separated from each other in a vertical direction and extended parallel along the girth of the trunk are provided on the center external surface of one of the front and back girth areas 6 and 7 of a disposable diaper 1. Also, the tapes 19 and 20 have end parts 19A and 20A secured to the external surface of the diaper 1, and the remaining freely deformable parts 19B and 20B of the tapes 19 and 20 are folded on top of each other so as to be stretchable along the trunk. Furthermore, an adhesive area is formed on the end parts 19A and 19B for holding the folded state and keeping the diaper 1 crumpled.



COPYRIGHT: (C)1997,JPO

THIS PAGE BLANK (USPTO)